

第351回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成30年9月10日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

豊口 協	委員長	若杉 隆平	副委員長
飯塚 智	委員	中島慎一郎	委員
野内 隆裕	委員	大久保千春	委員
田村 明子	委員	柳川かおり	委員

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役放送本部長	竹石 尚史
取締役報道制作局長	永田 広道
取締役編成局長兼番組審議会事務局長	宗田 英成
報道制作局次長兼制作部長	羽田 朗
番組担当プロデューサー	真木 一仁
事務局	山崎 学 小野塚由起子 吉田 康宏

## 4 議 題

### 1) 番組合評

#### 「24時間テレビ41 にいがたスペシャル」

[放送：平成30年8月26日(日)11:27-12:27]

(説明：番組担当プロデューサー 真木 一仁)

### 2) 会社報告

①7月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要

会社側からは、今回の24時間テレビでは過去の番組構成を変えて、今回のテーマである「人生を変えてくれた人」への感謝を「田んぼアート」で表現しようと、新潟での放送では初めて朝から夕方まで一日を通して軸となる企画で番組を制作し、また今までイベント会場で番組進行をしていたMCを本社募金会場に変えて放送するという、新しい試みを実施することで視聴者の方々に24時間テレビへの関心を高めてもらおうという意図で番組を制作した、という説明があった。

### (委員の意見)

- 「田んぼアート」の制作過程をダイジェストで見せるような工夫があると良かったのではないかと。
- 様々な募金会場の様子の中継で紹介したことは良かった。但し、インタビューの最中も近くで募金の呼びかけをしていたので聞き取り辛かった。
- スタジオMCの照明が暗く、番組全体が暗くなった気がした。

- 「田んぼアート」を作る小学生が当日を迎えるまでの様子が描かれていればよかった。
- 「人生を変えてくれた人」をインタビューしていたが、子供に答えてもらうには難しいテーマではなかったかと思う。
- 新潟全域でまとまって参加できるイベントだと改めて感じる事が出来た番組だった。
- 中継先と比べてMCが静かだったが、番組をきちんと伝えようとする真剣さが表れていて好感が持てた。
- 栗島のクリーン作戦は初めて知ったが、非常に良い企画だと思った。参加したくなった。
- 諸橋アナウンサーが小学生にインタビューしていたが、子供扱いをしないで話を聞いていた姿に好感を持った。
- 芸人のステージがあっただが、必要があったかと疑問に思った。
- 24時間テレビという見ごたえのある番組の中で、新潟らしさを演出する工夫がなされていたと思った。
- 幅広い年齢層に対して24時間テレビに参加してもらいたいという内容が見て取れた。

## 6 会社側の報告

### 1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

7月 …… 129件

### 2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成30年7月23日)から、昨日(平成30年9月9日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

- 7 審議機関の答申または意見（前回審議会）に対してとった措置
- 1) 前回第 350 回審議会では、「NGT48 新章へ～新メンバー加入！新たな幕開け～」を審議いただきました。  
委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
  - 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。
- 8 今回の第 351 回放送番組審議会の公表
- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
  - 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
  - 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。
- 9 参考事項（委員への配布資料）
- ・7月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
  - ・BPO報告 NO.190、191
  - ・民間放送新聞（7/23、8/3、8/23、9/3号）

以上